

リワーク通信

vol.30 2018年3月9日発行

Reborn



リワーク通信は、復職支援プログラム(リワーク)の活動内容をお知らせするため、実際にプログラムに参加しているメンバーが活動の一環として作成しています

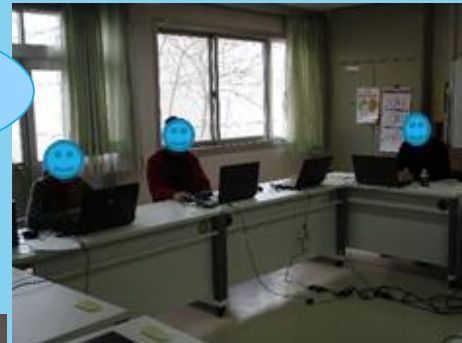
通信名の「Reborn」は利用者の方々が、病気を治療しながら社会復帰を目指していく気持ちを込めて命名しました。

オフィスワークを紹介します

リワークで行っているオフィスワークは、パソコンを使った作業で集中力を養います。プレゼンテーションやリワーク通信の編集を行います。



どのような意見でもどうぞ

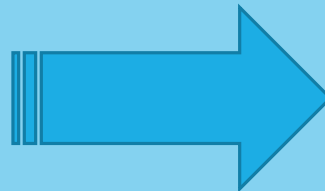


会議の様子

①題材に向けての提案や割り振りを検討する



②完成期日に向けてパソコン入力等作業



③皆さんのパーツを集約していく

完成！！

オフィスワークは、心理療法士によって出された課題に対しメンバーで力を合わせて発表できるように資料を制作していくものです。週に2回行っています。

新メンバーYさん

リワークに参加して、2週間が経ちました。最初は、不安でどうしようかと思いましたが、ほかの参加者の方とも仲良くなり、不安が無くなってきました。これからいろいろなことを学んで復職につながるように、焦らず、騒がず、諦めず、私の選んだ人生に後悔しないようがんばっていきましょうと思います。

新メンバーAさん

リワークに参加して、復職・就職という同じ目標を持ったメンバーと適度に良い加減に卒業を目指していきたくて考えています。

新メンバーKさん

私は、以前リワークに通っていましたが、入院となり現在は、東7病棟より午前のみでの参加となっています。少し、中途半端な存在なので、早く皆さんとフルタイムで参加したいと思っています。

卒業生コメント（おめでとうございます！！）

卒業生メンバーUさん

休職しはじめの頃は、自宅で書籍やネットによる勉強ばかりしていて人と関わる機会をあまり持てずにいましたが、プログラムに参加したことで、色々な個性をお持ちの方々との交流を図ることが出来ました。私にとってリワークは、スタッフ&メンバーの皆さんとのコミュニケーションを通じて社会復帰の為の心のリハビリテーションを行なうことが出来た、貴重な時間です。



今回は、30回記念号へスタッフからメッセージをいただきました

心理療法士 伊藤さん

毎号、編集長を中心に趣向を凝らしたリワーク通信を作成されており、楽しませていただいております。リワークへの参加を検討されている方にとっては実際の様子をイメージする参考になっているでしょうし、OB・OGには近況を知るメッセージとなっていることでしょう。これまでの30号を振り返ると、ガーデニングを取り上げた回が多いように思われます。ガーデニングに向けた皆様の熱い思い、つまりPASSION（情熱）が反映されているということでしょうか。この先も50号を目指して、ますます面白いリワーク通信へと発展されますことを期待しております。



伊藤さん



向阪さん

心理療法士 向阪さん

完璧なものを作る必要はないと思いますが、常に現状のクオリティは保ちつつ、特に自分は食事に関する項目について重点を置いてもらいたいと思っています。私は栄養士ではありませんが、皆さんの食事をする姿やその際の交流の様子はリワークの楽しさを表せているかと思います。また、これまでのリワーク通信では各曜日のプログラムやイベントを紹介していただくにとどまらず、プログラムを受けていただいたみなさんの意見が乗せられていてスタッフとしても大いに参考にさせていただいております。これからも読者がこのリワークになら通ってみたいと思えるような記事づくりを頑張ってください。

編集後記

今回初めて編集長を務めて、緊張もしましたが、皆さんに助けられて、素敵なものが出来上がりました。30回目を迎えるにあたり、今後もより良いものが出来上がっていけば良いと願っています
リワークメンバーを代表して編集長より